種目名	６　算数	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	啓林館

発行者 / 観　点	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館	日本文教
１学習指導要領との関連	・児童による思考・表現の活動を多く取り入れ、様々な考えを整理したり伝え合ったりする言語活動を充実させる編集となっている。	･課題の終わりにあたる場面には適宜「ふりかえろう」を設け、知識･技能的な内容の振り返りのみならず､学び合うことや他を思いやることが確認できるよう編集されている。	・子供の日常生活に根ざし、単元の導入や説明等で図や絵、写真などを豊富に用いて、興味・関心をもって学習に臨えるように編集されている。	・課題の終わりにあたる場面には適宜「ふりかえろう」を設け、知識・技能的な内容の振り返りのみならず、学び合うことや他を思いやることが確認できるよう編集されている。	・「算数実験室」等、学習したことを実生活等に生かす活動を随所に取り入れ、思考力･表現力を高められるように編集されている。	･問題解決の場面では、自らの意見を発表し、他者の多様な考え方を尊重し、話し合いを通してよりよい考えを作り上げていく展開を重視して編集されている。
２あいちの教育の基本理念	・日常の事象や児童の生活場面での課題設定がなされ、学習した内容が社会生活で生かされる工夫がなされている。	･出生や環境問題に関する場面を基に算数的な課題を設け､生命や自然を大切にする態度を養わせる。	・豊かな算数的活動を取り入れ子供の興味・関心を喚起し、主体的に学習するよう工夫されている。	・主体的な学習を重視し、自主及び自律の精神を養うように配慮されている。職業及び生活との関連を重視してある。	･巻頭や単元ごとに学びを生かすコラムが示され、生活や社会との関連を意識されている。	・身近な話題を取り上げた課題を多く示し、身に付けた内容を実生活や社会で生かせるように工夫されている。
３内容等　(1)内容の選択	・２年下巻以上の巻末に「見通し」を示し、学習を「振り返る」活動例として学び方が分かる「考えよう伝えよう」を設けてある。 ･｢話し合い活動｣や｢ノートづくり」にも力を入れてある。	･学習課題や学習教材として他教科や学校生活､日常の生活と関連した教材を積極的に取り上げてある。 ･具体物を用いた作業的･体験的な活動を設け､付録も掲載されている。	・身近に存在する算数的な事象や教材を美しいカラー写真で紹介し、興味付けや有用性に気付かせるよう工夫されている。	・単元ごとに、活用問題「学んだことを使おう」を位置付けてある。学習したことをすぐに実生活等に活用することで、算数を学ぶよさを実感できるように構成されている。	・生活体験を重視し、身近な素材で解決の必要感がもてる内容が選択されている。 ･課題解決に必要な考え方を複数示し、考え方を選択できるように構成されている。	・単元導入時に既習事項を振り返り、その後の学習の見通しをもつことで、学習内容の焦点化が図られるよう配慮されている。 ・学習した内容ごとに練習問題を繰り返し行うことができる。

		東京書籍	大日本図書	学校図書	教出	啓林館	日本文教
	(2)内容の程度	・巻末の補充問題に２段階の問題を用意し、個々の習熟度に応じて、基礎的な技能が確実に習得できるよう工夫されてある。 ・「ふりかえりコーナー」を設け、学習できた内容を確認できる工夫がされている。	・各学年の巻頭に「算数の学び方」のページを新たに設け､授業の流れに沿ったノートの書き方を例示してある。 ・単元間の「算数たまてばこ」で、児童の活用力をさらに育てようとしている。	・巻末には「力をつける問題」のページを設け、３種類の異なるタイプの問題を掲載し、確実に学力をつけられるよう工夫されている。 ・教科書の本文とリンクされているので振り返りやすい。	・巻末及び単元ごとに補充・発展の練習問題が用意され、個の習熟の程度に応じた繰り返し学習ができるように配慮されている。 ・線分図や数直線を使って、式の根拠を考えたり計算のしかたを説明したりする活動を重視している。	・発達段階に応じた図やイラストを使用し、身に付けねばならない内容が理解できるようになっている。 ・吹き出しなどでつまずきやすい内容を示し、問題選択して学習できるよう配慮されている。	・つまずきやすい内容を側注に記述し、補充問題では、児童自身が習熟度に合わせて学習を進められるよう配慮されている。 ・各学年に合わせた作業的・体験的な活動や学びを生活に生かす活動を取り入れた内容がある。
	(3)内容の構成	・算数自習コーナーは、家庭学習にも活用できる。発展的な内容は学びを深められる工夫がされている。	・全学年を年間各１冊の合本とし､学年内の振り返りが容易になり、１年間の見通しも容易である。	・全体の内容を精選し、余った時間を巻末問題に取り組み、学力向上に向けて弾力的に工夫されている。	・児童の発達段階に応じた算数的活動を多く取り入れ、学習意欲を高めながら応用力を身に付けられるように系統的に組織されている。	・学年間のつながりや他教科との関連に配慮し、学習内容が系統的に組織されている。	・学習に必要な準備や問題解決の過程に沿って配列され、身の回りの事象に関連した学習を進められる。
４表記・表現及び使用上の便宜等		・家庭学習のための留意事項が示され、自学自習ができるように構成されている。無料のICT 教材をHP に用意し学習効果が上がるようにしてある。	・キャラクターを適宜配置し､必要箇所は写真で実物を示すなど分かりやすい工夫がされている。 ・計算問題で､計算の方法がかわる問題に色付けがしてある。	・ノートづくりやレポートの書き方の例示がある。 ・作図方法やグラフの書き方などで、連続写真を効果的に取り入れて説明している。	・単元のまとめでは、学んだことのよさや考え方を振り返る４コマ漫画を設けてある。 ・ふきだしで、「学習のねらい」と「考え方のまとめ」が示されている。	・日常の様子を表すイラストや写真などが適切に活用されている。 ・文章表現は、簡潔・明瞭で的確である。	・イラストや写真などは見やすく、活動内容を分かりやすくするために、図・吹き出しなどが効果的かつ適切に活用されている。
５印刷・造本等		・印刷は鮮明で読みやすく、色調や配色などは細部まで配慮されている。	・課題の背景に色網を施し､読みやすいフォントを使用している。	・中１ギャップや学力向上といった諸課題への対応として､「中学校へのかけ橋」が別冊となっている。	・全体的に色味や明るさの違いを効果的に使用し、レイアウトを工夫して、見やすくなっている。	・図や表は大きさや配置を工夫したり､表題や問題番号を青で統一したりするなど適切に配慮されている。	・AB 判でゆったりとした紙面構成になっている。